

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 177

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	福祉部 健康課
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 1. 社会福 現年		
事業名	地域福祉推進事業				
細事業名	地域福祉推進事業				
評価表作成者				市民福祉部 社会福祉課	勝山 万里恵

## 1. 事業の概要

南丹市地域福祉計画を着実に推進していくにあたり、平成20年3月に策定した南丹市地域福祉計画の進捗状況について点検・評価を行い、推進のための方策を検討するとともに、計画の見直しについても提言していく役割を担っている。

平成22年度は、地域福祉計画において「重点プロジェクト」として掲げている南丹市における重点的な課題に対する取り組みについて点検評価を行った。

また、地域福祉推進の中核的な役割を担っている社会福祉協議会の地域福祉活動指針『なんたんふれあいプラン』の策定と進捗管理について中心的な役割を担う南丹市社協企画委員と懇談し、活動の実践報告等により相互の理解を深めた。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

南丹市地域福祉計画の推進を図るため推進委員会を設置し、国の社会福祉制度改革の動向を十分に見極めながら、地域福祉計画の進捗状況の把握や、推進のための方策の検討、計画の見直しなどを行う。合わせて、庁内推進部会を立ち上げ、推進委員会より付託される協議内容について調査・資料作成等を行うものとする。

### ② 事業を実施する必要性

地域福祉を推進する上で、中核的な役割を担っている南丹市社協と連携しながら、地域課題や地域福祉推進の方向性を共有化し、次期計画の策定につなげていく必要がある。

## 3. 事業費の推移

	単 位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	3,224	0	111	109	358	1,000	500
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,224	0	111	109	358	1,000
職員等の従事人員	人/年	—	0.40	0.10	0.15			
人 件 費	千円	—	3,154	768	1,197			
事業費総額	千円	—	3,154	878	1,306			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

地域福祉計画推進委員会委員報酬	102,500円
旅費	2,284円
消耗品費	3,811円

## 5. 事業結果の概要

地域福祉計画推進委員会 平成23年3月3日（木）開催  
 (1) 南丹市地域福祉計画の進捗状況について（行政の取組み）  
 (2) 社協企画委員会との懇談  
 ・地域福祉防災活動モデル事業、社協ふれあい委員活動の実践発表  
 ・分散会（意見交流）

## 6. 活動の詳細

推進委員会の開催		
南丹市地域福祉計画推進委員会 南丹市地域福祉計画の進捗状況について 社協企画委員会との懇談	平成23年3月3日（木）	推進委員 21名出席／24名 中 社協企画委員 8名 行政・社協 12名

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

平成22年度は、年1回の取り組みしか実施できていない。内容が、計画の進捗状況の確認等であったが、23年度は計画の総括や次の計画に向けどうしていくか等、年数回実施し、じっくりと取り組んでいく必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

南丹市地域福祉計画の推進に向け、推進委員会及び庁内推進部会の設置について議論した。  
南丹市地域福祉計画の着実な推進のため必要な事業である。  
今後、随時会議を開催し意見等を求める必要がある。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
南丹市地域福祉計画の推進に向け、推進委員会を設置することについて議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
丹市地域福祉計画の実効性を図るための事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
21年度早期の設置に向け取り組む。